

このページは、ひらがな直接入力ではできません。みそのまで見ると印刷して使ってくださいね!!

おもしろ国語 25



さみだれ

五月雨をあつめて早し 最上川

もがみがわ



まつおばしよ

この句を知っている人は、皆さんの中にもいるかもしれませんね。松尾芭蕉の有名な俳句です。梅雨の季節がもう少し続きます。日本人は、この句にあるように、昔から雨について沢山の呼び名をつけて親しんできました。その呼び名は、四百以上あるという説があるほどです。

代表的な呼び名をいくつか紹介します。みなさんは、いくつ知っていますか。

春の雨

春雨（はるさめ）

春、しとしと静かに降る雨

菜種梅雨（なたねつゆ）

菜の花が咲くころのしとしと降る雨

五月雨（さみだれ）

きゅうれき旧暦の五月ごろの長く続く雨。

梅雨（つゆ、ばいう）

げし夏至の頃をはさんで、あめもよう雨模様の天候が続く時期のこと

走り梅雨（はしりつゆ）

梅雨入り前の雨が続く状態。

空梅雨（からつゆ）

雨が少ない梅雨。

緑雨（りよくう）

新緑の頃に降る雨のこと。

子糠雨（こぬかあめ）

音もなく静かに降る、ごく細かな雨のこと。



夏の雨

洗車雨 (せんしゃう)

七夕の前日、旧暦の七月六日に降る雨。彦星が織姫おりに会うときに使う牛車を洗う水になぞらえているといわれています。

夕立 (ゆうだち)

短時間で雷を伴って降る

強い雨。

白雨 (はくう)

明るい空から降るにわか雨。

秋の雨

秋雨 (あきさめ)

秋に降る冷たい雨。

冷雨 (れいう)

冷え冷えと降る晩秋の雨。

霧雨 (きりさめ)

霧のように細かい雨。



冬の雨

時雨 (しぐれ)

晩秋から冬にかけて降る、降ったり止んだりのあまり強くない雨。通り雨。

月時雨 (つきしぐれ)

月明かりの中の時雨。

氷雨 (ひさめ)

みぞれや雪に変わる前の凍るように冷たい雨。



この他にも、「天気雨」や同じ意味の「狐きつねの嫁入りよめいり」は、みなさんも聞いたたり、使ったりしたことがあるのではありませんか。

全て同じ雨なのに、呼び方によって思い浮かぶ雨の様子が変わってきますね。「今日の雨に、ぴったりの呼び名は、どれかなあ」と探してみるのも楽しいかも知れません。